

2025年(令和7年)

第885号

10月

編集及び発行人:
東京土建一般労働組合
杉並支部
杉並区高円寺南3-6-2
TEL(3313)1445
FAX(3313)7096
メール doken-suginami@mx10.ttcn.ne.jp
定価1部50円(購読料は組合費に含む)

●建設業に働くみなさんの仕事とくらしを応援します

すぎなみ

初参加者の声



阿佐谷分会では、青木教育宣伝部長の声掛けで2人が初めて参加しました。「空間デザインの仕事をしている尾木です。組合には色々な職種の人がありますね。これからも分会や支部の行事に参加してみようと思います」と尾木さんは語りました。



(株)秀英舎の阿部貴紀さん(高和・揚重)は、同僚を誘って5人で参加しました。「暑かったけど楽しかった」「また参加したい」といった感想が聞かれました。



白石淳さん(高和・大工)は同僚を誘って参加しました。「昨年『神宮・森のビアガーデン』でおこなわれた交流会にも参加しました。さまざまな職種の人と交流できるのがいいですね。また参加します」との声が。今後、事業所向けには「ゴルフコンペ」「釣り大会」などの計画があります。

初参加の仲間多数(阿佐谷分会)



9.7 秋の拡大月間 組合員交流会

秋の拡大最終盤 仲間を組合へ！組織を大きく強く

9月7日、吉祥寺パルコ屋上BBQ DAYSにおいて「秋の組合員交流会＆拡大出陣式」をございました(参加者175人)。この日も猛暑日となりましたが、初めて参加する仲間、事業所からまとめての参加など、分会を越えて交流。秋の拡大月間の成功を誓いました。

冒頭、鎌田委員長は「秋の拡大月間に入りました。未加入の仲間への声掛けをよろしくお願ひします。今日は大いに食べて飲んで交流しましょ」と主催者を代表してあいさつ。

続いて本部より熊切書記次長から「秋の拡大月間、一人ひとりがやれるこ

とをおこなうて欲しい。本

部に異動してよく分かつたことは、杉並支部が運

動の中心であること。杉

並支部がコケると全部

がコケる。拡大はコケる

訳には行きません。本日

は英気を養つていただき、

拡大月間に向かってい

ただきたい」と激励のあい

さつがありました。

縫村書記長による乾杯

のあと、しばし歓談。分

会を越えて交流を深めま

した。

縫村書記長による乾杯

のあと、しばし歓談。分

<p



地域の防災力を高めよう

防災クイズで知識を深める
墨田区や町会が主催する防災訓練に参加する中で、最初に注目を浴びたのは、実物大に近い倒壊家屋からの救助出でした。屋根瓦から好評を得ることができました。

墨田支部自主防災組織「ハンマーズ」は2014年に結成されました。地域建設産業が、その社会的役割を果たすこと、地域の防災力向上に役立つことがその目的です。活動当初はハンマーズの認知度もなく、活動する環境も整っていませんでした。そこで、レベルアップを図るため、学習会の開催、防災訓練の実施、防災士資格の取得などをおこない、ハンマーズを地域に広めていこうと考えました。

墨田区や町会が主催する防災訓練に参加する中で、最初に注目を浴びたのは、実物大に近い倒壊家屋からの救助出でした。屋根瓦から好評を得ることができました。

墨田区や町会が主催する防災訓練に参加する中で、最初に注目を浴びたのは、実物大に近い倒壊家屋からの救助出でした。屋根瓦から好評を得ることができました。

墨田区や町会が主催する防災訓練に参加する中で、最初に注目を浴びたのは、実物大に近い倒壊家屋からの救助出でした。屋根瓦から好評を得ることができました。

墨田区や町会が主催する防災訓練に参加する中で、最初に注目を浴びたのは、実物大に近い倒壊家屋からの救助出でした。屋根瓦から好評を得ることができました。

墨田区や町会が主催する防災訓練に参加する中で、最初に注目を浴びたのは、実物大に近い倒壊家屋からの救助出でした。屋根瓦から好評を得ることができました。

墨田区や町会が主催する防災訓練に参加する中で、最初に注目を浴びたのは、実物大に近い倒壊家屋からの救助出でした。屋根瓦から好評を得ることができました。

墨田区や町会が主催する防災訓練に参加する中で、最初に注目を浴びたのは、実物大に近い倒壊家屋からの救助出でした。屋根瓦から好評を得ることができました。

ハンマーズの結成

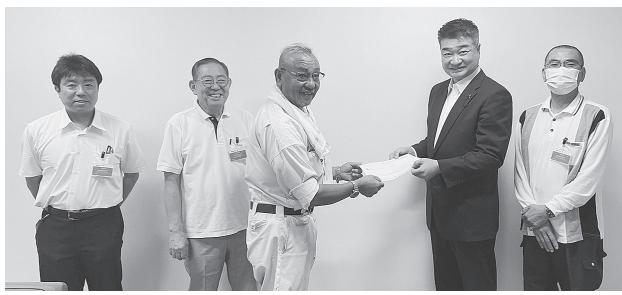
鈴木
チーフマネージャー

9月1日「防災の日」に合わせ杉並支部会館にて防災学習会を開催しました(参加者46人)。今回は、全般的にみても活発な活動をおこなっている墨田支部自主防災組織「ハンマーズ」より福井キャブテンと鈴木チーフマネージャーをお招きし、具体的な活動を報告いただきました。講演の後半では防災クイズ(ハンマーズクエスト)があり、防災に関する知識を深め、最後に杉並支部「まちの救助隊ビーベース」の活動について、吉田隊長より報告・提案しました(文責・双木)。

防災学習会

国崎たかし都議から
署名をもらう浅田副委員長

建設国保 都費補助賛同署名



6都議全員より賛同署名もらう



あかねがくほかよ子都議から
署名をもらう岸川社保対部長

9月24日に杉並建築協議会(東京土建・杉並建設・建設ユニオン)で杉並選出の6都議全員に建設国保都費補助金などの賛同署名行動をおこないました。

建設国保と現場で働く労働者の現状を訴え、①建設国保への都費補助現行水準確保、②特定健診・特定保健指導に対する都費補助の拡充、③建設国民健康保険組合の育成強化、について要請。全都議会議員から快く賛同署名をもらうことができました。

災害と防災



青木 隆之 防災士

防災士模擬試験 災害について学ぼう

今回は、先月掲載した、防災士試験で使用されている模擬試験の解説を掲載します。(文責・双木)

問1 「土石流」の特徴に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ①誤り=土砂が通常水で運搬される量よりも以上に多く流出し、土砂と水が一体となった連続体の流れ
- ②正解=土石流の流速は20~40km/h
- ③誤り=土石流の前兆は普段聞きなれない大きな音や異様な音が聞こえる、異様なにおいがする、など

問2 「活火山と噴火」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ①誤り=活火山を認定する機関は「国土交通省」ではなく「気象庁」である
- ②正解=日本にある「活火山」の数は、北方領土や海底火山も含めると111になる
- ③誤り=マグマの粘性が小さい場合、マグマの中の揮発性成分が気泡として析出しても、すぐにマグマから逃げ去り、激しい爆発も起こさず穏やかに溶岩を流す

問3 「噴火現象」に関する次の記述のうち、正しいものはどれか

- ①正解=火山噴火に伴って火山から放出されるものには火山灰・火山レキなどの固形噴出物(火砕物)、マグマが火山の斜面を流下する溶岩流、気体として放出される火山ガスがあり、それらが災害の要因となる
- ②誤り=火山灰(直径2mmより小さい)、火山レキ(直径2mm~64mm)、火山岩塊(直径64mmより大きい)に区分される
- ③誤り=マグマの温度は通常900°Cから1,200°C

趣味で始めた
鎔繪(ててえ)鬼瓦を
制作中

私は世田谷区赤堤に生まれ、幼少期を新潟県高田市で過ごしました。4人兄弟の長男で、名前の「弘明」は祖父からいたいたものです。のちに父は世田谷の親戚を頼って上京し、左官工として働きながら昭和23年に阿佐谷に家を建て、家族とともに移り住みました。当時は住み込みのお弟子さんも多く、6~7人いたことを覚えています。

高校卒業後、父のもとで左官工事を手伝いました。土壁仕事を携わった最後の職人の時代で、一般住宅でも壁が乾くまでに1年ほどかかりました。経済発展に伴い内壁はプラスチックボード下地にクロス貼り、外壁はサイディングになりました。

左官職が消えましたが、建設業界全体は発展していました。40歳の頃、転職を考えていた私は、同じ分会の秋山俊宣さんが

産業発展と引き替えになった職種

さわうみ ひろあき
澤海 弘明さん 阿佐谷・左官

私は世田谷区赤堤に生まれ、幼少期を新潟県高田市で過ごしました。4人兄弟の長男で、名前の「弘明」は祖父からいたいたものです。のちに父は世田谷の親戚を頼って上京し、左官工として働きながら昭和23年に阿佐谷に家を建て、家族とともに移り住みました。当時は住み込みのお弟子さんも多く、6~7人いたことを覚えています。

高校卒業後、父のもとで左官工事を手伝いました。土壁仕事を携わった最後の職人の時代で、一般住宅でも壁が乾くまでに1年ほどかかりました。経済発展に伴い内壁はプラスチックボード下地にクロス貼り、外壁はサイ

「軽天工として独立するので一緒にやらないか」と声を掛けたところ、ともに働くことになりました。時代は移り、高層マンション建設ラッシュが到来。室内の間仕切りには木材ではなく軽天鉄骨材が使われました。その結果、町場職人時代より優遇された賃金を、ただくことができ、東京都庁新設工事にも従事することができました。秋山さんは20年お世話になりました。

父が組合員だったため組合費を支払って事務所を訪れるうち、書記局の宮崎さんの勧めもあり東京土建に加入了しました。全員として中国を訪れた毛沢東主席の一員として中国を訪れた優勝者はダントツで中川雅夫さん(中央・建築一式)でした。ちなみにダントツで重い球(16ポンド)を使ったのは福元廣美さん(中央・どび)

でした。



第381回

分会レクリエーション

9/28
浜福

分会センターでBBQ交流会

9/28
中央

ボウリング交流会

仲間と交流・親睦深める

浜福分会は、分会センターにてBBQ交流会を開催(参加者18人)。今年後継者対策部長に新任したフィリップさん(浜福・内装)は、従業員のアメリカ人を連れて参加しました。

数年前に入院した際にはお見舞い金をいただき、「いざという時に頼りになる東京土建を改めて実感しているところです。建退共やどけん共済は組合の最高の

メリットの一つです。

中央分会は「ディグボウル吉祥寺」にてボウリング交流会を開催(参加者19人)。食べながら飲みながらボウリングができるおトクなコースです。ストライクが出るたびに大歓声が起り、組合員・家族間で交流することができます。優勝者はダントツで中川雅夫さん(中央・建築一式)でした。ちなみにダントツで重い球(16ポンド)を使ったのは福元廣美さん(中央・どび)

第23回 東京土建まつり



●11月16日(日) 10時~15時
●杉小グラウンド・蚕糸の森公園

でした。

ターナーにてBBQ交流会を開催(参加者18人)。今年後継者対策部長に新任したフィリップさん(浜福・内装)は、従業員のアメリカ人を連れて参加しました。

縫村書記長は、前日大量

に釣り上げたフグを唐揚げにして差し入れし、大変好評でした。

青年部からの参加もあり、大変盛り上がった交流会でした。

縫村書記長は、前日大量に釣り上げたフグを唐揚げにして差し入れし、大変好評でした。

青年部からの参加もあり、大変盛り上がった交流会でした。